

**N +
BOX**

NEW NEXT NIPPON NORIMONO



**お客様の喜びを願い、
持てる技術を惜しみなく。**

「軽」最大級の広さを生かし、日本の「遊び」も変える。



「日本にベストなあたらしいのりもの」を目指した Honda の軽自動車 N シリーズ。

第一弾モデルの N BOX は、革新プラットフォームによって軽自動車の概念を超える広さを実現し、

ファミリー層を中心とする幅広いお客様にご支持いただいています。

N BOX の開発の中で私たちが描いたもうひとつの夢は、この圧倒的な広さを生かして、

より遊びごころをくすぐるクルマ、もっとワクワクするのりものを創造できないか、ということでした。

「趣味の多様化」と言われて久しくなりますが、

近年では、従来のアウトドアレジャーに加えて、レンタル農園や車中泊旅行など、

ライトなレジャースタイルが広がりを見せています。

軽自動車でありながら、趣味の道具が容易に積めて、車内でぐっすり眠ることができれば、遊びの世界は大きく広がる。

きっと、これまで踏み出せなかった趣味にもチャレンジできる。そう考えました。

そして、重い道具もラクに載せられる斜めの床や、大人 2 人が足を伸ばして寝られるフラットなベッドモードを実現。

その結果、趣味や遊びの広がりだけでなく、車いす仕様への応用までをも可能にしたのです。

Honda には、創業当時から受け継がれる考え方があります。

「人を幸せにできるなら、持てる技術を惜しみなく使え」

その姿勢を貫き、日常からレジャーまで幅広いニーズに応えるクルマをつくり上げたつもりです。

N BOX の魅力に、あたらしい可能性をプラスした N BOX +(エヌ ボックス プラス)。

私たちの提案で、お客様の毎日が、より自由によりアクティブになることを願ってやみません。



開発責任者

浅木 泰昭 (あさき やすあき)
(株) 本田技術研究所 主任研究員

1981 年、(株) 本田技術研究所入社。

エンジンテストグループに配属され、

翌年、F1 第二期参戦へ向けた立ち上げから携わる。

その後、エンジンテスト PL、インスパイア LPL 代行、
ニューモデル企画等を経て、

2011 年、N シリーズ共通プラットフォームおよび
N BOX の LPL を担当。

引き続き、N BOX + の LPL を務める。

趣味はゴルフ、温泉めぐり、釣った魚を自らさばいて
チームメンバーにふるまうこと。

愛車はアコード、フィット。

革新プラットフォームを核に広がる軽自動車の新世界。 日本ののりものを変える、Honda N シリーズ。



N シリーズの根幹をなすのは、
Honda 独創のセンタータンクレイアウトと
従来より 70mm も短いミニマムエンジンルームを核とした革新プラットフォーム。
M・M 思想*に基づき、
「空間のゆとり」、「行動を楽しむ工夫」、「こころのゆとり」を追求したプラットフォームは
それまでの概念を超える圧倒的広さと快適性、そして経済性を実現し、
軽自動車の可能性を格段に広げました。

N BOX では、「空間のゆとり」に重点を置いてキャビンスペースを拡大し、
軽自動車サイズにミニバン価値を凝縮した「ミニ・ミニバン」を提案しましたが、
革新プラットフォームの可能性はそれだけにとどまりません。
圧倒的に広い空間を積載性に生かせば、これまで積みなかつた道具も積める、
趣味や遊びの世界を大きく広げることができる。
そして、お客様のより豊かなライフスタイルに役立つことができる。
N シリーズ第二弾 N BOX + は、そうした志から誕生しました。

Honda は、この革新プラットフォームを核に
軽自動車の世界をどんどん広げていきます。
N シリーズの今後に、どうぞご期待ください。

*「M・M 思想」とは、「人のためのスペースは最大に、メカニズムは最少に（マン・マキシマム / メカ・ミニマム）」という、「人が中心」の発想で取り組む Honda のクルマづくりの基本思想。

N
BOX



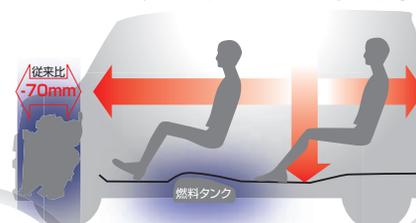
空間のゆとり

N+
BOX



ミニマム
エンジンルーム

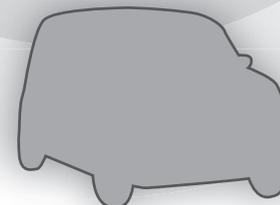
センタータンク
レイアウト



こころのゆとり

M・M 思想の究極を
体現した
革新プラットフォーム

行動を楽しむ工夫



暮らしに遊びに可能性をプラスする、 One's ACTIVE MINI N BOX + 発進。

N+
BOX

N BOX + は、「広さ」の中に趣味や遊びにうれしいアイデアを満載したアクティブ・ギア。

「ワズ・アクティブ・ミニ」をコンセプトに、
使う人それぞれの毎日が、より自由によりアクティブになるよう、
日常の使いやすさはもちろん、多様な趣味や遊びに自在に応えるクルマを目指しました。

「いろいろつめる」、「のびのびとまれる」、「らくらくのせられる」をテーマに、
3つのボードで多彩な空間アレンジを実現するマルチスペースシステムや、
センタータンクの特徴を生かした斜めの床を開発。
さまざまな荷室モードや車中泊を可能にするベッドモード、
そして、荷物や道具の積み降ろしを格段に容易にするユニバーサルブリッジを実現しました。
Honda のパッケージングテクノロジーと遊びどころが作り上げた
これまでにない軽自動車です。



いろいろ
つめる

荷室の2段使いや、リアシートダイブダウンによるフラットモードなど、荷物の大きさや種類に応じた多彩な荷室アレンジを実現しました。

のびのび
とまれる

身長 190cm の大人2人が足を伸ばして寝られるベッドモードを実現。ベッドモードのまま下段を荷室として活用できます。

らくらく
のせられる

FF 車、4WD 車とも、荷物の積み降ろしが容易な斜めの床を実現。アルミスロープを装着すれば、斜めの床が地面まで続くユニバーサルブリッジとなります。

革新プラットフォームを生かし 居住性と積載性を高次元で両立。

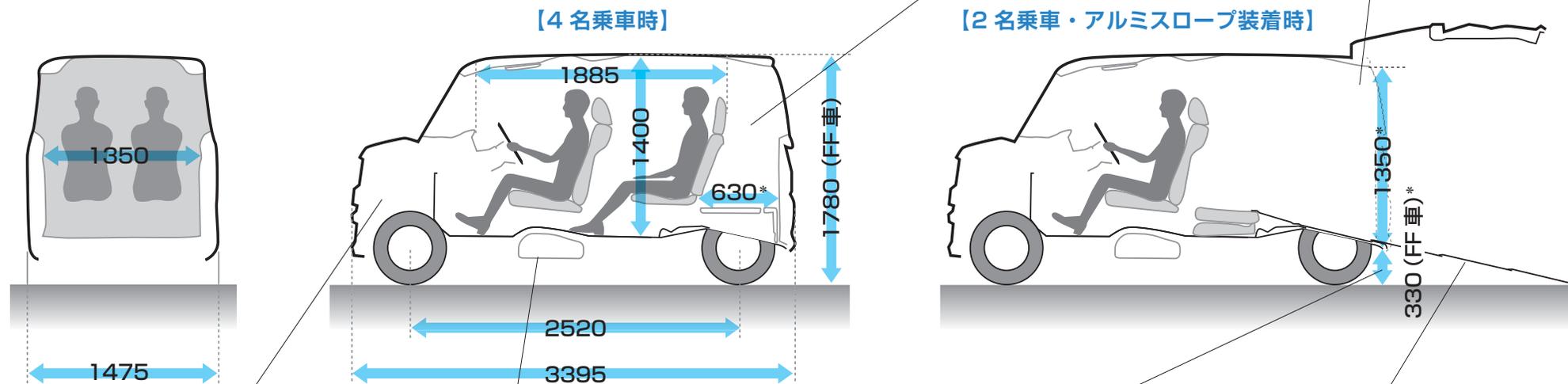
サイズが制限された軽自動車ではリア席の快適性と荷室のバランスが課題となります。Hondaは革新プラットフォームの圧倒的な広さを生かし、フィット同等のリア席ひざ回り空間を確保しながら荷室を拡大。さらに、新発想の斜めの床とアルミスロープ*によるユニバーサルブリッジで、荷物や道具の積み降ろしを格段に容易にしました。

荷室

N BOX に対しリアシートを前方に配置。フィット同等のリア席ひざ回り空間を確保しながら、N BOX より215mm 長い 630mm*の荷室長を実現しました。

テールゲート開口高さ

開口地上高を低くすることで、開口部の高さを N BOX より150mm 高い 1,350mm*に拡大。背の高い荷物も容易に積み降ろしできます。



ミニマムエンジンルーム

衝突時に補機類がつぶれるなどして衝撃吸収スペースをつくり出す画期的エンジンによりエンジンルームをミニマム化しています。

センタータンクレイアウト

燃料タンクをフロント席下に配置するHonda 独創のパッケージング技術。これにより、リア席・荷室の低床化と空間拡大を実現しています。

テールゲート開口地上高

開口部の最低地上高を、N BOX に対し150mm 低い 330mm (FF車)*に設定。重い荷物も高く持ち上げる必要がなくラクに積み降ろしできます。

ユニバーサルブリッジ

斜めの床とアルミスロープ*によるユニバーサルブリッジ。バイクや耕うん機などの重い道具もラクに積み降ろしできます。リア席下に燃料タンクを持たないセンタータンクレイアウトが可能になりました。

*Honda測定値
単位=mm

* アルミスロープはディーラーオプション

【マルチスペースシステム】



3つのボードの組み合わせで、 多彩な空間アレンジを実現。

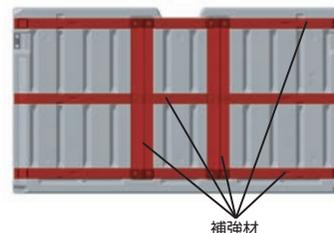
大小2つのマルチボードとエンドボードからなるマルチスペースシステムは、ボードの取り付け位置を変えることで、さまざまな荷室モードやフラットなベッドモードをつくり出す画期的なシステム。アレンジのしやすさにも気を配りました。



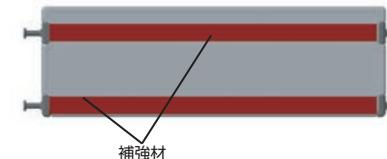
十分な強度でさまざまなモードに対応

マルチボード(大)に5本、マルチボード(小)に2本の補強材を施すとともに、ボードシャフトの受け手となるブラケットを強固な構造とすることで、200kgの耐荷重を確保。重い荷物を載せても、大人2人が横になっても、十分な強度を持たせました。

■マルチボード(大)

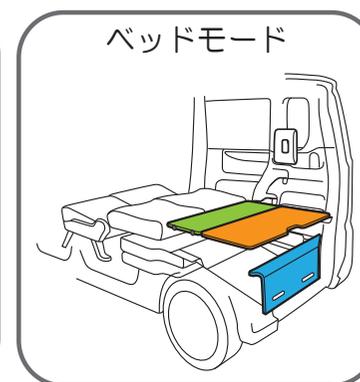
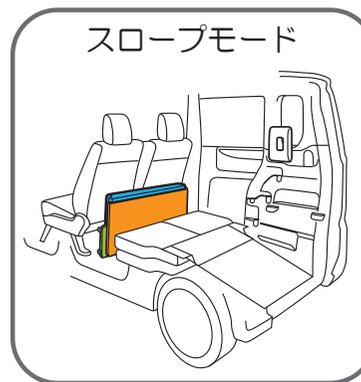
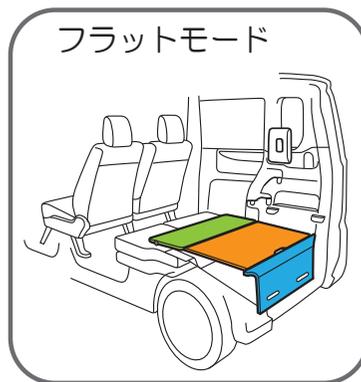
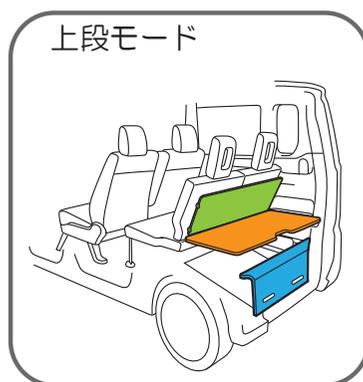
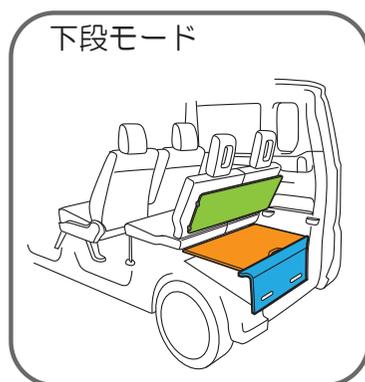


■マルチボード(小)



容易なアレンジ

使いたいモードに手早くアレンジできるように、操作のしやすさに気を配りました。マルチボード(大)は、上段モード時に4点で支える構造とすることで、ボードが支持部の間をすり抜けられるようにし、上段モードと下段モードの切り替えを容易にしました。マルチボード(小)は、支持部近くにガイドレールを設け、取りはずしたり起こしたりする操作をしやすくしています。



いろいろつめる【荷室アレンジ】



**4人乗ってもたっぷり積める余裕の荷室。
マルチスペースシステムで
使い方は自由自在。**

N BOX +が目指したものは、N BOXが持つ日常の使いやすさをそのままに、趣味やレジャーに大活躍する自在な空間をプラスすることでした。そこで、リア席の快適性を確保しながら荷室を拡大。家族4人乗っても全員分のキャンプ道具がしっかり積めます。さらに、マルチスペースシステムによって多彩な空間アレンジを実現。床下を「隠せる収納」として使える下段モードや、リア席ダイブダウンによる広大なフラットモードなど、荷物に応じてさまざまな使い方ができます。また、マルチボードやリアシート背面などをワイパブルとすることで、汚れ物や濡れ物も気兼ねなく入れられるようにしました。



数値はHonda測定値

リア席の快適性を確保

リア席をN BOXに対し前方に移動させながら快適性を確保するために、フロントシート背面の形状を変更。フィット同等のひざ回りを実現しています。



座り心地と荷室の利便性を両立した 新設計リアシート

リアシートは簡単操作でダイブダウンでき、広大でフラットな荷室に変身します。そこで、シートとしての機能と荷室床としての機能の両立を目指しました。ダイブダウン時に低い床となる設計としながらシート形状を工夫することで座り心地を確保。リクライニングの可動角度を拡大するとともに、使い方に合わせてきめ細かく設定できるようにしました。



ヘッドレスト収納

フラットモード時にははずしたリア席のヘッドレストは、リアクォーターウィンドウ下のホルダーに収納できます。置き場所に困ることがなく、見た目もすっきりです。



滑りにくく質感が高い琉球畳パターンワイパブル表皮

マルチボードやリアシート背面などは、汚れが拭き取りやすいワイパブル表皮としました。立体的なストライプ柄を交互に配した琉球畳パターンにより、適度な滑りにくさで荷物の安定性を高めるとともに、光の角度によって変化する見え方が上質感を演出しています。



いろいろつめる【荷室アレンジ】

いろいろ
つめる

のびのび
とまれる

らくらく
のせられる

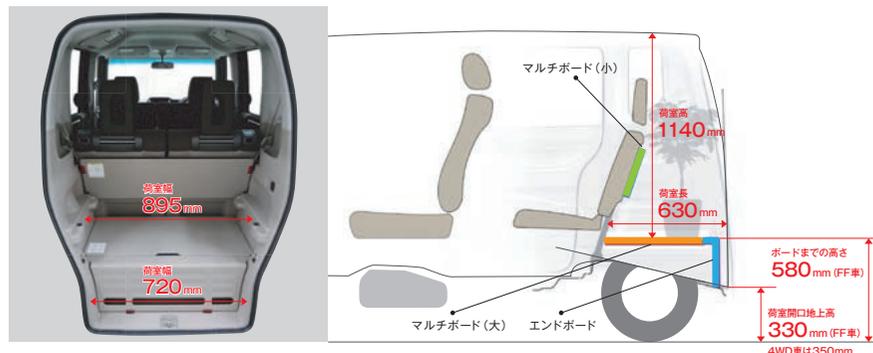
N+
BOX

いろいろな荷物を自在に積める簡単便利な4つのモード。

普段は買い物や通勤に使いながら、週末には趣味やレジャーを思いっきり楽しみたい。そんな要望に応えるために多彩な荷室モードを実現しました。

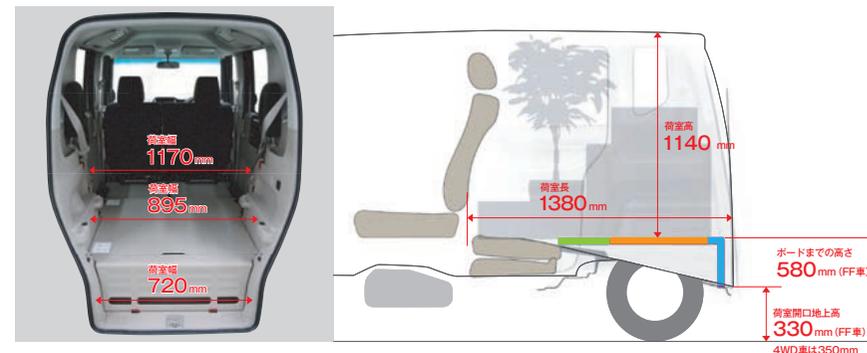
下段モード (4名乗車)

マルチボード(大)を下段に装着すれば、1,140mmの荷室高で背の高い荷物も搭載可能。ボード下の空間は「隠せる収納」として活用できます。汚れた道具や濡れた衣類なども気兼ねなく入れられるようワイパブルとしました。



フラットモード (2名乗車)

リア席のヘッドレストをはずしてダイブダウンし、マルチボード(大)を下段に、マルチボード(小)をその前方に装着すれば、長さ1,380mmの低くフラットな荷室が完成。大型の荷物も余裕で搭載できます。



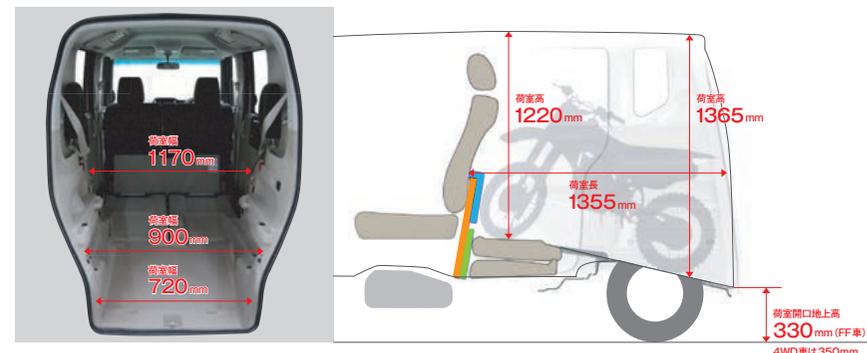
上段モード (4名乗車)

マルチボード(大)を上段に装着すれば、上下2段の荷室が完成。重い荷物は下段に、軽い荷物や食材は上段に、というように荷物を整理して積むことができます。



スロープモード (2名乗車)

マルチボード(大/小)とエンドボードを取りはずせば、N BOX + 独自の斜めの床が出現。低い開口地上高や掃き出しフロアと相まって、電動自転車やバイクも、前輪を少し持ち上げて荷室にかければ積むことができます*。取りはずしたボードはフロント席後部に収納可能。



* サイズ・形状によっては荷室に積めない場合があります。

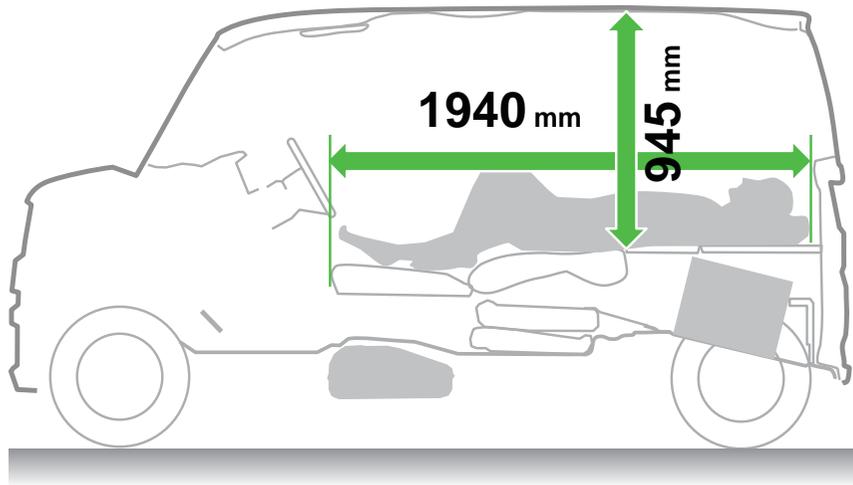
数値はすべて Honda 測定値

のびのびとまれる【ベッドモード】



大人2人が足を伸ばして寝られる ベッドモード。 車中泊で快適睡眠を提供。

趣味やレジャーを楽しんでいただくためにクルマにできることはなんだろう。いままでの軽自動車にできなかったことはなんだろう。お客様の喜びを真摯に考えた結果、Hondaは、「軽」の中に快適なベッドスペースを創り出すという驚きのアイデアを具現化しました。ベッドの長さは、大人が足を伸ばしても余裕の194cm。長距離ドライブ時の休憩はもちろん、近年話題の車中泊旅行に最適。移動するベッドスペースが行動の幅を大きく広げます。



数値はHonda測定値

寝心地と運転のしやすさを両立したフロントベンチシート

フロントシートは、N BOXに対しシートバックの幅を拡大し、ショルダー部の上面を水平に揃えることで、ベッドモード時にマルチボードとスムーズに連なる形状としました。また、運転のしやすさを確保したうえで、サイドサポートの張り出し形状をなだらかに変更。さらに、アームレスト下の隙間をふさぎ、平らで隙間のないフラットベッドを実現しています。

■フロントベンチシート



ヘッドレスト収納

ベッドモード時にはずした、フロント席、リア席のヘッドレストは、リアクォーターウィンドウ下のホルダーに重ねて収納することができます。背もたれとして利用でき、また、日よけや目隠しの役割も果たします。



■ヘッドレスト収納

荷物を積んだままベッドモードにアレンジ可能

ベッドモードではマルチボード(大)を上段にセットしますから、ボード下に荷物を積んだままベッドモードにアレンジできます。ベッドを広く使うことができ、また、テールゲートを開ければ、ベッドモードのまま荷物の出し入れが可能です。



■荷物積載イメージ

写真のコolerボックスは容量34L
(幅570mm×奥行340mm×高さ340mm)
モデルの身長は160cm

のびのびとまれる【ベッドモード】



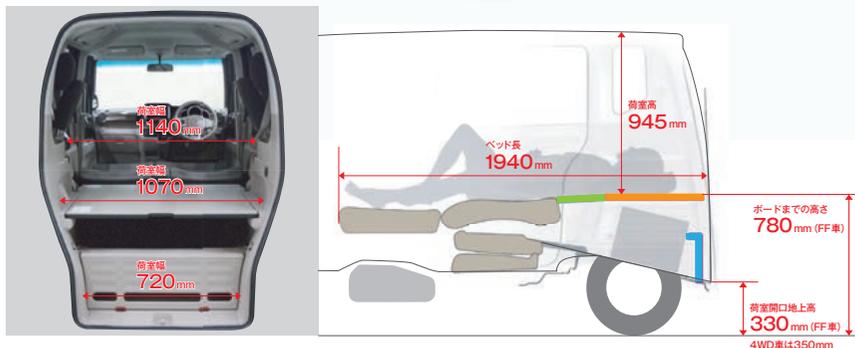
ベッドモードに最適な快適・便利装備で くつろぎの時間を豊かに演出。

ベッドモードが可能にするくつろぎの時間をよりゆったりと過ごしていただくために、寝転んでくつろげる工夫を満載しました。ベッドモード時にもクリアな音楽が楽しめるよう、ルーフにスピーカーを設定。ドリンクホルダーやマガジンラックとして利用できるポケットを、寝転んで手の届きやすい場所に配置しました。自分の寝室のようにくつろげる。それが、N BOX +のベッドモードです。

1 リアスピーカー(ルーフコンソール付)



ベッドモード



数値はHonda測定値

1 リアスピーカー (ルーフコンソール付)*1 (タイプ別設定)

コンソール付きの17cmスピーカーをルーフ左右に設けました。スピーカーの位置が高いため音の広がりがよく、臨場感豊かなサウンドが楽しめます。また、ベッドモードでもボードに隠れることなく、普段通りのクリアな音質です。コンソールは薄型ボックスティッシュがすっぽり収納できる容量を確保。シャッター式リッドを装備しており、使わないときはすっきりした見え方になります。十分な耐荷重のフックバーを備えており、S字フックを使ってランプを吊したり、キャンプ時などは左右にロープを渡して洗濯物を干したり、さまざまな用途に活用できます。



薄型ボックスティッシュ収納イメージ

2 ヘッドレストホルダー

取りはずしたヘッドレストを収納します。



3 ラゲッジサイドポケット

荷室の両サイドに大型ポケットを設けました。お気に入りの本や雑誌などを入れることができ、また、ドリンクホルダーとしても利用できます。



4 アクセサリーソケット (DC12V) / AC コンセント (AC100V/100W)*2

荷室右側にアクセサリーソケットを設けました。携帯電話の充電やベッドランプの装着などに便利です。また、AC コンセントをオプションで設定。パソコンの電源などに利用できます。



5 ドリンクホルダー

リア席左右の座面脇にドリンクホルダーを設けました。着座時もベッドモード時も手が届きやすい位置です。



*1 オーディオはディーラーオプション *2 ACコンセントはディーラーオプション

らくらくのせられる【ユニバーサルブリッジ】



斜めの床とアルミスロープ※1で 積み降ろしを格段にラクにする、 ユニバーサルブリッジ。

斜めの床にアルミスロープを装着すれば、床が地面まで続くユニバーサルブリッジに。スロープ角13度(FF車)、耐荷重200kgのスロープで、バイクや除雪機など車輪付きの道具はもちろん、船外機なども台車を用いて容易に積み降ろしできます。



■バイク(CRF50F)



■除雪機(HSS655c(J))※2

※1 アルミスロープはディーラーオプション ※2 除雪機の形状によっては積めない場合があります。

3段階スライド式アルミスロープ※1

アルミスロープは3段階スライド式で、使わないときはコンパクトにたたんでマルチボード下に収納することができます。普段はじゃまにならず、遊びのシーンで大活躍するアルミスロープです。



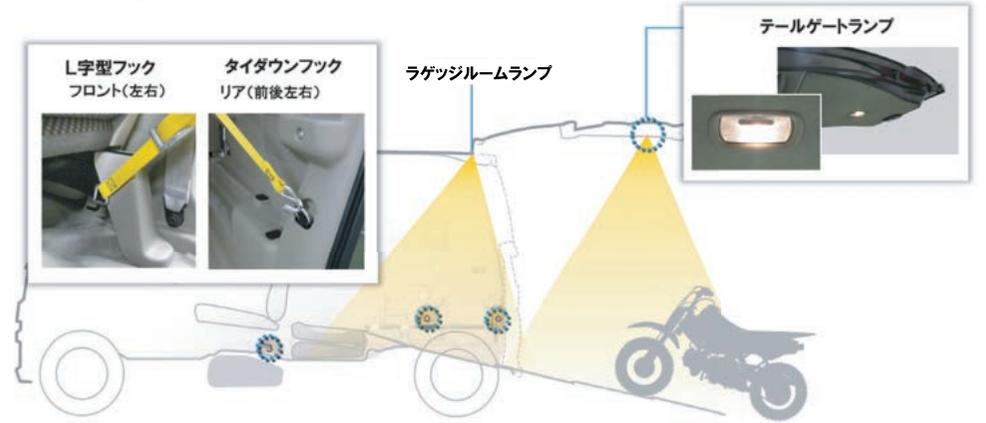
■スロープ収納状態

大切な趣味の道具をしっかり固定するタイダウンフック

荷室の左右側面にタイダウンフックを2カ所ずつ設置。フロントシート下左右のL字型フックと合わせ、計6カ所にフックを設けました。タイダウンベルトを用いて趣味の道具などをしっかり固定することができます。

ラゲッジルームランプ / テールゲートランプ

ルーフ後端のラゲッジルームランプに加え、テールゲートランプを標準で装備しました。荷室の外まで明るく照らしますので、夜間の積み降ろしに便利です。自動消灯機能を備え、バッテリーあがりにも配慮しました。



後付けで車いす仕様にてできる装備キットも開発中。

行動を楽しむ基本性能【ユーティリティー・視界】



N BOX が誇る抜群の使いやすさをそのままに 新しいアイデアで楽しさをプラス。

大開口両側スライドドアやピタ駐ミラーなど、N BOXで好評の装備はそのまま継承し、趣味やレジャーに役立つ新装備を追加しました。

乗り降りや荷室アレンジを容易にする 大開口両側スライドドア

リアドアは幅640mmの大開口。ステップ高は380mm (FF車)の低さです。乗り降りの容易さはもちろんのこと、荷室アレンジ時の動きやすさにも貢献。パワースライドドアもタイプ別で用意しています。



単位=mm
数値はHonda測定値

新しいアイデアでさらに充実した収納・便利装備

薄型ボックスティッシュが収まるグローブボックスやコンビニフックなど好評の収納・便利装備に加え、ベッドモード時や道具の積み降ろし時に役立つ新たな装備を追加しました。

■N BOX / N BOX + 共通装備



イラストはイメージ
グローブボックス



アレルクリーンシート
(タイプ別設定)



コンビニフック
(助手席フロント)



ドリンクホルダー(助手席)

■N BOX + 専用装備



リアスピーカー(ルーフコンソール付)
(タイプ別設定)



ラゲッジサイドポケット



タイダウンフック

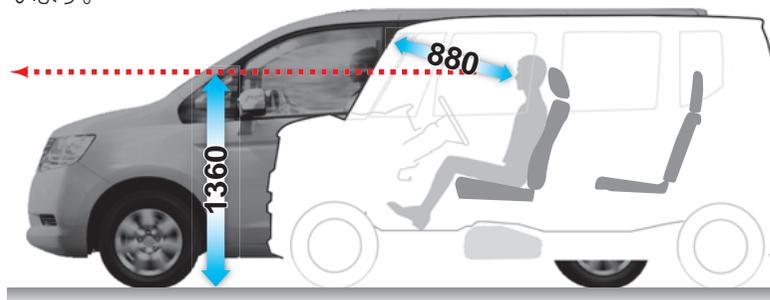


テールゲートランプ

小物類は撮影のために用意したものです。

ミニバン並の見晴らしのよさ

1,360mm*というミニバン並のアイポイントと死角の最小化などにより、良好な運転視界を実現しています。また、フロントウインドウ上端までの距離を十分に確保し、爽快な前方視界としています。



単位=mm
数値はHonda測定値
比較はステップワゴン

*日本人男性の約50%をカバーする身長としてHondaが定めた基準値に基づく。

駐車や路肩寄せをサポートするピタ駐ミラー

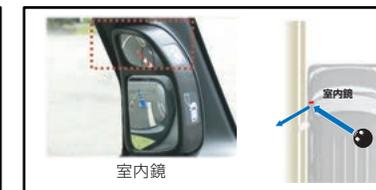
サイドビューサポートミラー

助手席側ドアミラーの前側に設けた室外ミラーと左フロントピラーのミラーが合わせ鏡の原理で左前方を映します。



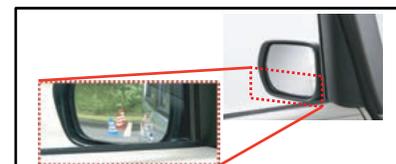
サイドアンダーミラー

助手席側の路面を映します。



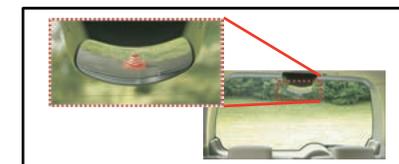
広角ドアミラー(左右)

複合曲率によって下部を広角化。後輪が視認できます。



後方視角支援ミラー

ハイマウントストップランプの背面にミラーを設置。後方視界を支援します。



行動を楽しむ基本性能【エンジン・トランスミッション】



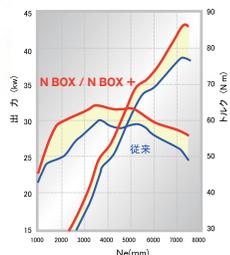
走りと燃費を高次元で両立した高性能パワートレイン。 街中でも高速道路でも爽快な走りを提供。

クラストップ*1の高出力・高トルクエンジンと、伝達効率の高いCVTにより、なめらかで力強い走りを提供。アイドリングストップシステムやECON モードなどを標準装備*2し、走りと燃費を高い次元で両立しています。 ※1 スーパーハイトワゴンクラス 2012年7月現在 Honda 調べ ※2 アイドリングストップシステムはターボ車を除く

3気筒 660cc DOHC エンジン

スイングアームタイプDOHCとVTCによる優れた動弁機構に加え、タペットクリアランスをゼロ調整するハイドロリック・ラッシュアジャスターを採用し高精度なバルブ制御を安定的に実現。ピストンストロークをロングにしたうえでロングインテークマニホールドを採用し、低回転域のトルクを強化しました。3,500回転で最大トルク65N・mを発生させ、街中で扱いやすく高速道路でもストレスを感じさせないエンジン特性としています。

EARTH DREAMS TECHNOLOGY

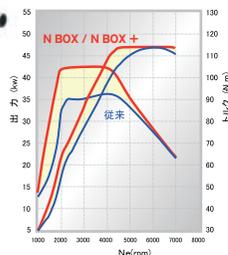


最高出力(ネット値) 43kW[58ps]/7,300rpm
最大トルク(ネット値) 65N・m[6.6kgf·m]/3,500rpm
JC08モード走行燃料消費率(国土交通省審査値) 21.2km/L
(G(FF)、G-Lパッケージ(FF))

3気筒 660cc DOHC ターボエンジン

高性能なターボチャージャーを採用し、クラストップレベルの高トルクを達成しました。2,600回転という低回転域で最大トルク104N・mを発生させ、力強い加速を提供します。N BOXではCustom専用でしたが、N BOX +ではノーマルモデルにも適用拡大しました。

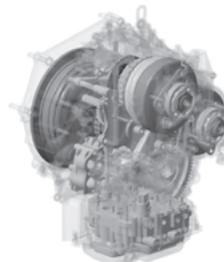
EARTH DREAMS TECHNOLOGY



最高出力(ネット値) 47kW[64ps]/6,000rpm
最大トルク(ネット値) 104N・m[10.6kgf·m]/2,600rpm
JC08モード走行燃料消費率(国土交通省審査値) 19.4km/L
(G・ターボパッケージ(FF))

ワイドレンジ平行軸 1次減速式トルクコンバーター付き CVT

最適なレシオを無段階に選択できることから燃費に有利なCVT。その利点を最大限に生かすワイドレンジとしたうえで、伝達効率のよい平行軸1次減速機構を採用。変速ショックのないなめらかな走りと優れた燃費性能を両立させました。



エコ運転をサポートする ECON モードを標準装備

スイッチひとつでエンジンやトランスミッションなどを低燃費モードに制御するECONモードを全タイプに標準装備しました。



アイドリングストップシステムを標準装備

停車中に自動的にエンジンを止めガソリン消費を抑えるアイドリングストップシステムを、ターボ車を除く全タイプに標準装備しました。ECONスイッチON時に作動します。

コーチング機能を標準装備

燃費のよい運転かどうかを、スピードメーター外周リング(エコインジケーター)の色で知らせるコーチング機能を標準装備しました。燃費のよい運転の時、N BOX +は白からグリーンに、N BOX + Customはブルーからグリーンに、色が変わります。



N BOX +

N BOX + Custom

■燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。
■JC08モード走行は10・15モード走行に比べ、より実際の走行に近くなるよう新たに設けられた試験方法で、一般的に燃料消費率はやや低い値になります。

行動を楽しむ基本性能【ボディ・シャシー】

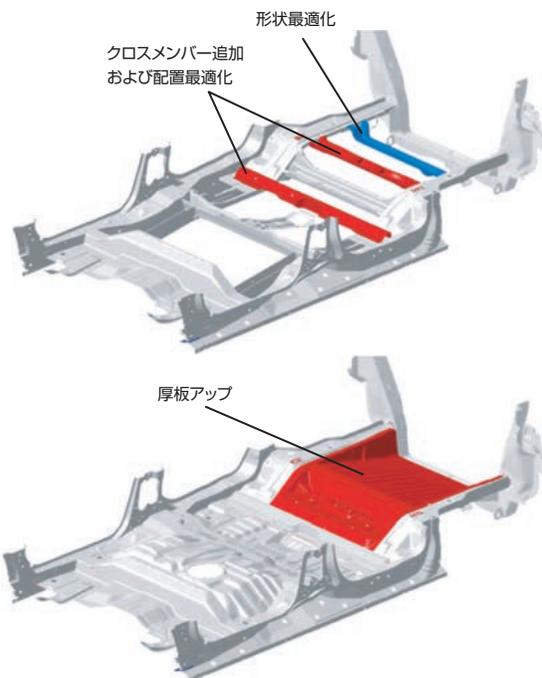


高全高・大開口のボディをしっかり支え、 重量物を積んでも安定した走りを提供する 専用ボディ&シャシー。

趣味やレジャーを楽しむクルマとして、目的地までの移動時間も楽しく快適に過ごせるようにしたい。そうした思いから、高速走行や長距離移動でも疲れにくい、安定感のある走りを追求しました。ボディは、N BOXをベースにリア回りを高剛性化。サスペンションやステアリングには専用セッティングを施しました。これらにより、重い道具を積んでも、しっかりと安定感のある走りを実現しています。

テールゲートを拡大しながら N BOX 同等の高い剛性を実現

一般的に、テールゲートを拡大するとリア回りの剛性は低下します。そこで、N BOXで実現した軽量・高剛性ボディにクロスメンバーを追加し、配置や形状を最適化。N BOX同等の高い剛性を獲得しました。また、フロアパネルの板厚をアップし、重量物の積載に対応しています。



安定した走りを提供する、専用サスペンション&14インチタイヤ

N BOXと同じ形式としながら、フロントサスペンションはスタビライザーを全タイプに適用拡大。リアサスペンションはバネレートとダンパー減衰特性を最適に設定しました。また、全タイプ14インチタイヤを標準装備。重量物を積載しても安定した走りや快適な乗り心地を提供します。

■マクファーソン・ストラット式フロントサスペンション

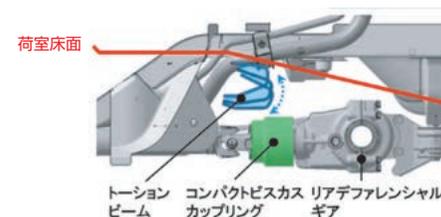
■H型トーションビーム式リアサスペンション



図はFF車

センタータンクレイアウトにより、斜めの床で4WD車を実現

斜めの床を実現するうえで課題となったのが4WDシステムとの両立でした。後輪車軸とリアデファレンシャルギアが一体となったシステムでは、タイヤとともにリアデフが上下に揺動するため、斜めの床との両立は困難です。N BOX +は、センタータンクレイアウトによって後輪車軸前方にビームを配する空間をつくり出し、H型トーションビーム式サスペンションの採用を実現。リアデフを独立させるとともにボディに固定して揺動をなくし、斜めの床のまま4WDシステムの搭載を可能にしました。また、コンパクト設計のビスカスカップリングによりトーションビームの稼働範囲を十分に確保し、優れたサスペンション性能も同時に達成しています。



高速道路や山道でも安定感のあるステアフィール

街中での扱いやすさを重視したN BOXに対し、N BOX +は高速道路や山道の走行までを想定。操作性と手応えを最適バランスさせたEPS設定とし、街中での扱いやすさと高速道路などでのしっかりしたステアフィールを両立させました。

行動を楽しむ基本性能【安全性能・環境性能】

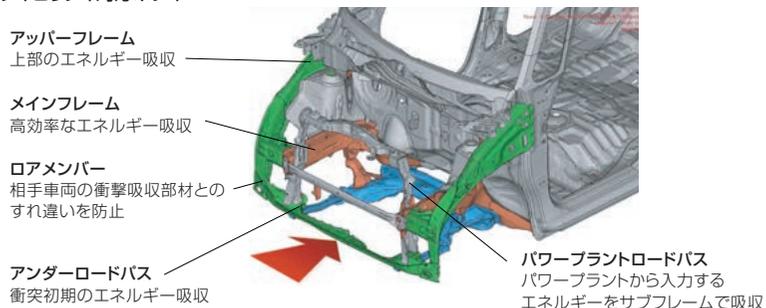


人にも環境にもやさしい 高水準の安全性能・環境性能。

リアルワールドでの安全を見据えた衝突安全性能

リアルワールドでの衝突安全を見据えたHonda独自のGコントロール技術により、「自己保護性能の向上」と「相手車両への攻撃性低減」を両立するコンパティビリティ対応ボディ。Nシリーズでは、新設計エンジンと新荷重分散構造を採用することで、従来軽自動車に対し70mmも短いエンジンルームでコンパティビリティ対応ボディを完成させました。これに加え側面衝突時の荷重を受け止めるシートロードパスや、後面衝突時の荷重を効果的に受け止めるストレートリアフレームなどにより、全方位で優れた衝突安全性能を実現しています。

■コンパティビリティ対応ボディ



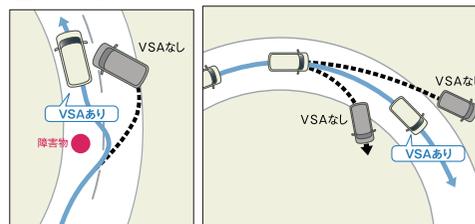
頭部や脚部などに対する衝撃吸収構造を採用した、歩行者傷害軽減ボディ

万一の際、歩行者にダメージを与えやすいボディ前部に衝撃をやわらげる構造を採用。ボンネットヒンジ部、フロントウインドウ支持部、ワイパー、ボンネット、バンパー、フェンダーを、衝撃吸収構造としています。

VSA（車両挙動安定化制御システム）と HSA（ヒルスタートアシスト機能）を全タイプに標準装備

横すべりなどクルマの急激な挙動変化を抑えるVSAと、坂道発進時の後退を抑制するHSAを、全タイプに標準装備しました。VSAは、2011年11月1日に施行された新基準ESC法規に適合しており、2014年10月1日から施行される装着義務についても先行して適用しています。

■VSA作動イメージ図



ブレーキ時の車輪ロックを防ぐABS、加速時などの車輪空転を防ぐTCS、旋回時の横すべり抑制、3つの機能をトータルにコントロールすることでクルマの急激な姿勢変化を抑え、安定した走りをアシストします。

■作動シーン例

- 急ハンドルでリアがすべり出した時
- カーブで曲がりきれなくなりそうな時
- すべりやすい坂道の発進でスリップした時
- カーブで思わず急ブレーキをかけた時

その他の安全装備

- 運転席用・助手席用 SRSエアバッグシステム（連続容量変化タイプ）&助手席用 SRSエアバッグシステム
- EBD（電子制御制動力配分システム）付ABS
- 頸部衝撃緩和とフロントシート
- ピタ駐ミラー（サイドビューサポートミラー、広角ドアミラー、後方視角支援ミラー）
- フロント3点式ロードリミッター付プリテンショナー ELRシートベルト
- リア3点式ELRシートベルト
- 汎用型ISOFIXチャイルドシートロアアンカレッジ（リア左右席）+トップテザーアンカレッジ（リア左右席）

■HSA作動イメージ図



坂道発進時、ペダルを踏み換える瞬間のクルマの後退を抑制（約1秒間）。

- 運転席 / 助手席シートベルト締め忘れ警告ブザー&警告灯（シートベルトリマインダー付）
- ディスプレイヘッドライト（HID）（オートレベリング / オートライトコントロール機構付）（タイプ別設定）
- ハイマウント・ストップランプ
- 熱線式リアウインドウデフォグガー
- サイドデフロスター
- チャイルドブルーフ
- 室内難燃材

など

全タイプで優れた環境性能を達成

全タイプ、国土交通省「平成17年排出ガス基準 75%低減レベル」認定を取得。



「平成17年排出ガス基準75%低減レベル」認定車表示マーク
平成17年排出ガス規制のNMHC、NOxについて、基準値を75%以上下回る優秀な環境性能を達成した車両に与えられます。

クルマ全体でリサイクル可能率 90%以上* を実現。

*（新型車のリサイクル可能率の定義と算出方法のガイドライン（1998年、自工会）に基づき算出。）

リサイクル材の使用を推進。

「平成27年度燃費基準」を達成。



G (FF)
G・Lパッケージ (FF)

「平成27年度燃費基準達成車」表示マーク
平成27年度燃費基準を上回る優れた燃費性能を達成した車両に与えられます。

日本自動車工業会の定める環境負荷4物質
自主削減目標を達成。

鉛:2006年1月以降1996年レベルの1/10以下に削減
水銀:2005年1月以降使用全廃
六価クロム:2008年1月以降使用全廃
カドミウム:2007年1月以降使用全廃

選べる個性【エクステリアデザイン&インテリアデザイン】



軽自動車とは思えない 存在感と充実感を継承した N BOX +

好評をいただいているN BOXのデザインを継承しました。エクステリアは、広大な室内を超スクエアフォルムで表現し、軽自動車とは思えない存在感を演出。街に映え、遊びのフィールドでも頼もしさを感じさせる、飽きのこないデザインです。インテリアは、ワイド感を強調する横基調のデザインと高い質感を引き継ぎながら、シートと荷室回りを大幅に変更し、さまざまなアクティブライフに応える室内としました。



Photo: (上)N BOX + G(FF) ボディカラーはプレミアムダイナミックブルー・パール (下)N BOX + G・Lパッケージ(FF)

圧倒的な存在感と上質感で 個性を際立たせた N BOX + Custom

より強い個性と存在感を求めるお客様に向けたN BOX + Custom。エクステリアは、3眼デザインのヘッドライトやメッキグリル、カスタムデザインバンパーなど数々の専用装備で圧倒的な存在感と精悍さを表現。インテリアは引き締まったブラック内装を基本に、ブルーの照明が印象的な常時点灯3眼メーターやメッキ加飾など、洗練されたアイテムを随所に施し、上質で先進的な室内に仕上げました。



Photo: (上)N BOX + Custom G・Lパッケージ(FF) ボディカラーはプレミアムホワイト・パール メーカーオプション(ナビ装着用スペシャルパッケージ)装着車 (下)N BOX + Custom G・Lパッケージ(FF) メーカーオプション(ナビ装着用スペシャルパッケージ)、ディーラーオプション(ギヤズナ ナビゲーション)装着車



N BOX + Custom 主な装備

- カスタムデザインバンパー ●クロームメッキ・フロントガーニッシュ ●フォグライト
- フロントアクセサリ LED ●ドアミラーウインカー ●カラードサイドシルガーニッシュ
- カラードテールゲートスポイラー ●大型クロームメッキ・リアライセンスガーニッシュ
- ピアノブラック調インパネガーニッシュ (G・Lパッケージ / G・ターボパッケージ) ●常時点灯3眼メーター (速度計: ブラック / ブルー照明) ●ブルー・イルミネーション (インパネトレイ) (G・Lパッケージ / G・ターボパッケージ)

など

楽しさを広げるカラーコーディネート【2トーンカラースタイル】



遊びどころに満ちた2トーンカラーで 自分らしさを強調する3つのスタイル。

趣味や遊びの世界を大きく広げるクルマとして、使う人の個性をより強く楽しく表現できるよう、2トーンカラースタイルを用意しました。ボディとルーフを異なる色で塗り分け、遊びどころを強調。ボディカラーをインテリアにも反映しクルマ全体のコーディネートとしました。随所にクロームメッキやシルバー塗装を施したうえ、ドアライニングに専用表皮を採用。細部まで手の込んだ仕上げとしています。

ピンク&ブラック

ボディカラー：チェリーシェルピンク・メタリック+クリスタルブラック・パール

シートカラー：ブラック

彩度を抑えた上品なピンクを基調に、ルーフとドアミラーをブラック、ホイールをシルバーで表現。愛らしさの中にスパイスを効かせたコーディネートです。



ボディは、塗装の高技能者が、丹精をこめてルーフを手塗り。N BOX+に合わせて作業架台などを設計した専用の塗装工房に完成車を入れ、細部まで丁寧にマスキングを施し、気温や湿度に応じて主剤・溶剤・硬化剤を調合した塗料で塗装。クリア塗装を重ね、機械乾燥と一昼夜の自然乾燥を経て、一台一台、送り出します。

ブロンズ&ホワイト

ボディカラー：プレミアムブロンズ・パール+タフタホワイト

シートカラー：ブラウン

彩度を抑えたシックなブロンズを基調にタフタホワイトを組み合わせました。ドアミラーとホイールもホワイトとし、強いコントラストでアクセントとしています。インテリアはシートとドア表皮にブラウンを採用。さらに、シートメイン材をチェック柄とすることでシックな中にもおしゃれ心を感じさせるコーディネートとしました。



ブルー&ホワイト

ボディカラー：プレミアムダイナミックブルー・パール+タフタホワイト

シートカラー：ブラック

躍動感がありながら落ち着きをも感じさせる深みのあるブルーにタフタホワイトを組み合わせました。ドアミラーとホイールもホワイトでアクセントとしています。



Photo: 写真はすべてNBOX+ G・Lパッケージ(FF) 2トーンカラースタイル

